

昨今は家で過ごす時間の増加に伴い、一部屋の中にさまざまな居場所を作ることがトレンドになっています。例えば、リビングに子供の学習スペースやリモートワークスペースをつくる、寝室に小さな書斎スペースをつくるなど。そんな時にお部屋を緩やかに仕切ったり、あまり見せたくない場所をうまく隠す方法として、間仕切り家具が便利です。ファミリーやDINKS用の広さのあるお部屋の場合はイメージが付きやすいかと思うのですが、今回は「ワンルーム一人暮らし」をテーマに家具で空間をつくるレイアウトを実践してみました。ぜひご一読ください。

家具で空間を創る —実用的で小洒落た暮らし—

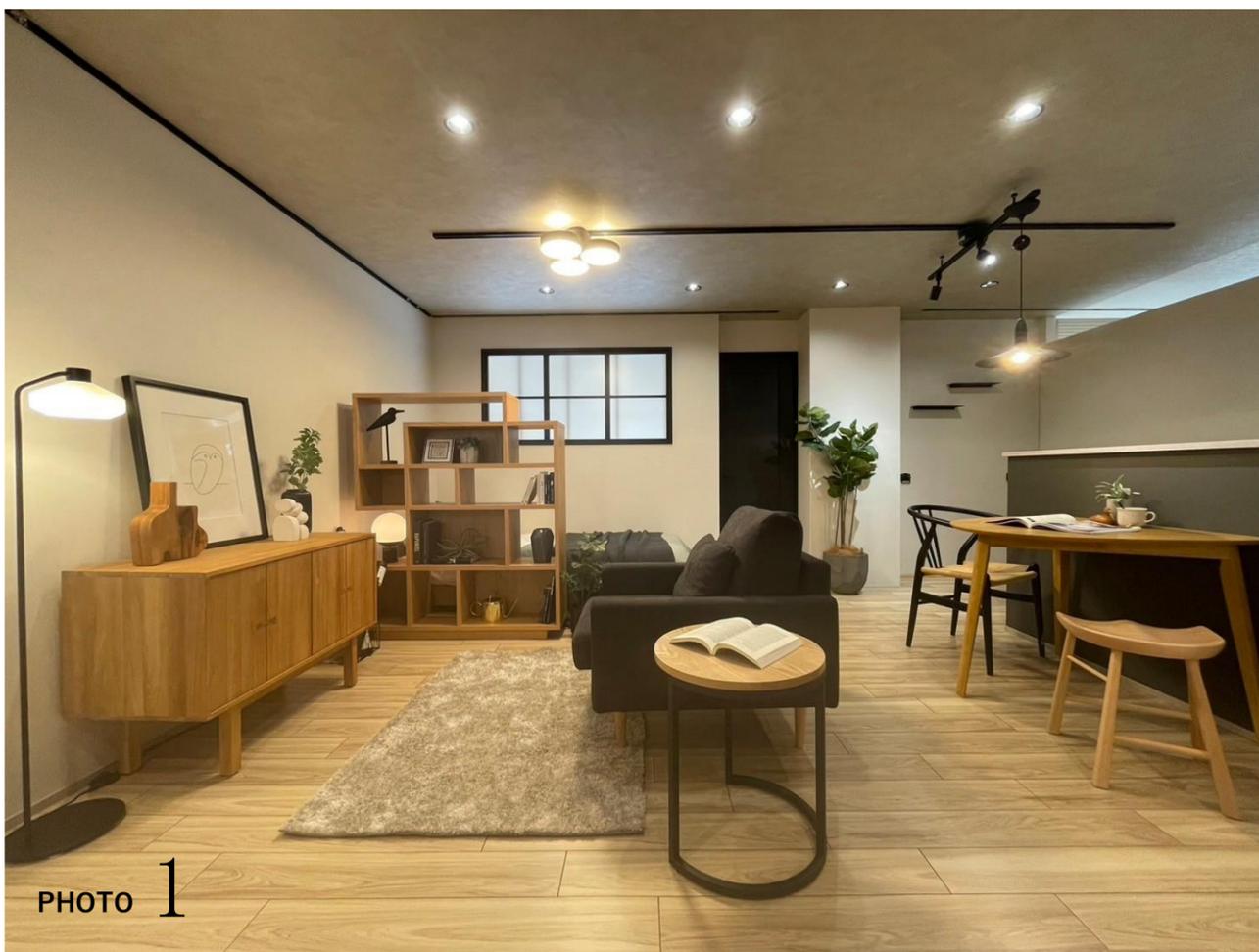


PHOTO 1

Case. 1

【間取り・ペルソナ】

- ・ 8帖ワンルーム(キッチン除く)
- ・ 30代女性広告代理店勤務
- ・ 頻度は少ないがリモートワークもあり
- ・ 趣味はプロジェクターで映画鑑賞すること

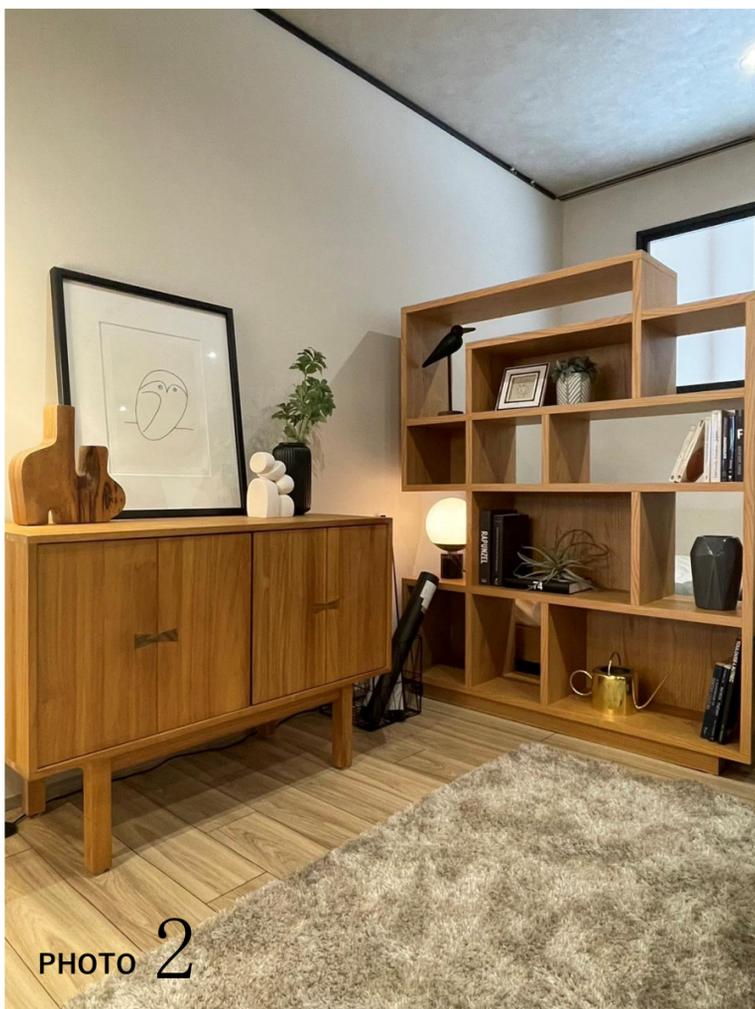
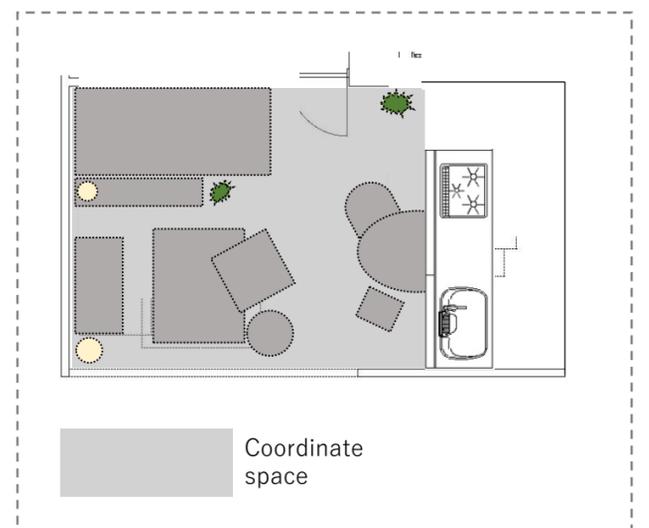


PHOTO 2

- 1_ワンルームとなると広さを考えどうしても家具を壁面に置くことが定番になりますが、1つの部屋で「寛ぐ・食べる・寝る」の3つの空間を分けるレイアウトにしました。空間は統一感がありながら、用途に合った暮らし方ができるようなコーディネート。
- 2_背の高い間仕切り家具を利用し、リビング空間と寝室空間を区切ることで、しっかり部屋を分けるイメージになります。高さがあるシェルフでも背板がなく奥が見えるものにする事で、奥行き感が生まれ圧迫感を感じにくくなります。オープン部分にはベッドからも使いやすいナイトランプを設置し、実用性も兼ねています。
- 3_リビング側からベッドを隠すことで、生活感がなくなり一気に洗練された空間に見えます。最低限の寝るスペースを確保しながらもインテリアの統一感を意識し、演出しました。



PHOTO 3